

ワールドカップ関連情報

2014年3月20日付（W杯まであと84日）

1) エドゥアルド・ゴメス国際空港拡張工事と公式戦前後の空港離着陸制限

マナウス市北部に位置するエドゥアルド・ゴメス国際空港の拡張工事は2011年11月に着工し、2013年12月に終了予定だったが、ロジスティックな問題や降雨の影響により遅延しており、100%完成するのはワールドカップ後の9月になる見通し。ただし、2月末までにロビー、搭乗・到着待合室、駐車場など70%以上が利用可能な状態にあり、ワールドカップの需要には対応できるとしている。工事費は当初の予算3.89億レアルから4.44億レアルに増加。空港の処理能力は、年間旅客数が640万人から1350万人、ボーディングブリッジが6本から8本、チェックインカウンターが36から87、エレベーターは1基から16基に拡大する。

公式戦が開催されるスタジアムを中心とする半径7.2キロの圏内にある空港の離着陸は、試合開始時刻の1時間前（開幕戦・決勝戦は3時間前）から4～5時間制限される。空軍航空管理センター（CGNA）によると、サンパウロやブラジリアなどの主要空港は含まれず、開催都市12都市のうち、該当するのはマナウスを含め9空港で、開催期間に予定されている便の1%（800便）に影響する。マナウスでは6月14日、18日、22日の17～21時、25日の15～19時は離着陸が制限される。飛行規制はドイツや南アフリカのワールドカップ、ロンドンオリンピックなどでの措置を参考に策定され、ブラジル領空で講じられる全ての措置は国内外の関連機関に通知される。

マナウスで行われる試合

6月14日（土）18:00 グループD イングランド × イタリア
6月18日（水）18:00 グループA カメルーン × クロアチア
6月22日（日）18:00 グループG アメリカ × ポルトガル
6月25日（水）16:00 グループE ホンジュラス × スイス

2014年1月時点での空港の様子



Foto: obras.infraero.gov.br

【免責条項】記事はブラジル主要メディア及び公的機関ホームページからの公開情報を当館の責任でまとめたものです。できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連してご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、当館は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。